



Torch Red Metallic



Azure Blue Metallic



取材協力:ヤマハ発動機株式会社 西日本営業所 中部販売課 TEL:0533-59-6188 URL:http://www.yamaha-motor.co.jp/marine/
 ヤマハマリナー浜名湖 静岡県湖西市入出字長者1380 TEL:053-578-1114 URL:http://www.y-m-h.co.jp/

進化した「GP」が爆発的な加速性能とともに復活!! ヤマハ MJ-GP1800



YAMAHA MJ-GP 1800 メーカー希望小売価格 ¥2,120,580 (税抜)
 全長(m):3.35、全幅(m):1.22、全高(m):1.19、乾燥質量(kg):349、定員(名):3、オイル容量(L):5.3、
 燃料タンク容量(L):70、最大馬力(PS):250、エンジンタイプ:4ストローク/4気筒、41Vレブ、
 排気量(cc):1812、燃料:無鉛プレミアムガソリン

いよいよ復活の時が来た。誰もが憧れる「絶対的な速さ」を追及したヤマハの人気シリーズ「GP」が数年の時を経て、更なる進化を遂げて復活した。ヤマハ独自の材料技術で生み出された超軽量素材ハル「NanoXcel2」と1.8リットルSVHOエンジンの組み合わせで、来年のレースシーンにどんな変化を見せてくれるのか、今高い注目を集めているニューモデルである。GP1800はヤマハVXRと同型のハルを採用しており、コーナーリング性能は、もはや折り紙付きだ。マシンの持つ切れ味鋭いコーナーリング性能は、多くのユーザーの心を掴むだろう。また、ハルの材質を「NanoXcel1」から「NanoXcel2」に変更した事で、17kgの軽量化にも成功している。このボディに1.8リットルSVHOエンジンを搭載したのだから、当然加速性能も最高レベルなの

とうとう姿を表した規格外のモンスターマシン 圧倒的な加速性能と水面を切り裂く旋回性能



外観の色使いも2タイプともにクールだ。フロントのストレージは十分な深さがある。RiDEと電動トリムを搭載し、握りやすいグリップで爽やかな乗り味を楽しめる。

パネルはエッジの効いたデザイン。グローブボックスの奥行きも十分にある。シートはライダーの姿勢を安定させてくれる。エンジンは1812ccSVHOを搭載。

シート下には防水物入れを完備。両サイドにスポンソンを配置し、走行安定性も高い。プラットフォームの幅も広く、リボーディングステップもあり乗降もスムーズ。

だ。もちろんこのエンジンを搭載することで重さが増えたが、その分はハルの軽量化分で吸収できており、これによりマシンの総合バランスは最高レベルのクオリティとなっている。乾燥質量は349kgで、このクオリティを持つマシンの中では軽く、マシンから発揮される爆発力は想像して頂く以上のものがあると思う。胸がスツとするような豪快な加速は今後レースシーンをどう賑わしてくれるのか非常に楽しみである。そして、この加速性能をレースだけでなくクルージングや仲間とのツーリング時にも楽しんで欲しいと思う。爽快な加速性能はきっと大きな満足感を体感させてくれ、数多くのライダー達を喜ばせてくれるだろう。他にも広い収納スペースやRiDE及び電動トリムといった機能面も本当に充実した1艇である。レースやレジャーのシーンにおいて、来年はヤマハニューモデルGP1800が大きな注目を集めそうだ。



高性能なヤマハエントリーモデルが誕生 YAMAHA MJ-EX Deluxe



YAMAHA MJ-EX Deluxe
メーカー希望小売価格 ¥1,214,020 (税抜)

全長(m):3.14、全幅(m):1.13、全高(m):1.15、乾燥質量(kg):272、定員(名):3、オイル容量(L):3.5、燃料タンク容量(L):50、最大馬力(PS):101.4、エンジンタイプ:4ストローク/3気筒、4バルブ、排気量(cc):1049、燃料:無鉛レギュラーガソリン



ヤマハマリッジットの2017年ラインナップに新開発のエントリーモデルが誕生した。それがMJ-EX Deluxeである。このモデルはこれからマリッジットを購入して楽しみたい方には本当にお勧めな入門艇と言える。取り扱いもしやすいサイズ感が非常に好印象で、4ストローク3気筒の小型・軽量・高出力エンジン「TR-1」を搭載したマシンは、レスポンスの早い乗り味が楽しめる。また、船底には新型ライドプレートを搭載しており、旋回性能も高められている。エントリーモデルとは言うものの、この走行性能があれば、初心者ならずとも乗っていて思わず笑顔になってしまいそうだ。そのため、クルージングやツーリングのシ

ーンではもちろん、スポーティーな走りさえも存分に楽しめるだろう。マシンの乾燥質量は272kgとかなり軽量化を実現されており、エンジンと上手く組み合わせる事で、燃費効率を高めながら、抜群の乗り味までも発揮できるように仕上げられている。収納に関しても十分な広さを確保し、特に不満を感じる事はない。後方には幅の広いプラットフォームがあり、マリッジット中の小休止やウェイクボードの際に活用できそうだ。もちろんRiDEも搭載されているので、初心者ユーザーでも安心である。こちらは100万円前半で手に入るお手軽さも魅力的で、来シーズン多くのユーザーから支持を集めそうな予感がしている。



新型ライドプレート装備でコーナー性能UP!!



Azure Blue Metallic



フロント収納は浅めになっているが狭さを感じない。逆にシートに座りながら荷物が手が届くため便利である。RiDEも備わっているので初心者でも安心だ。



液晶メーターはライダーから見やすい位置。グローブボックスはかなり奥行きのある印象。シートは座り心地も良く、適度な幅でマシンとの一体感も感じられる。



シートを外せばエンジンルームを確認できる。シートベースのボルト6本を外せば、エンジンのメンテナンスがスムーズだ。ボルトを外す手間は殆ど感じ無いだろう。



スポンソンも装備しており、マシンの操作性や安定感が増している。プラットフォームも広く、マリッジットにも活用できそうだ。後方にはステップも付いている。